

アメリカ移民の話 番外 内務次官安河内麻吉のこと

安河内隆介『父と子 日米に別れて生きた九十年』に次の一節があります。

「麻吉伯父は私の祖父文三郎の甥で麻吉伯父の父甚平翁は私らが養育された新家で成人し、隣村の須恵村へ養子となっていた人である。麻吉伯父は新家を父の生家と想っており、私らも『伯父さん』と呼んでいた。」

安河内麻吉は上須恵の出身で、旧制中学修猷館を経て東京帝大（法）卒。内務次官在任中に死去します（享年五十五歳）。警保局長、福岡県知事などを歴任し、神奈川県知事在任中に関東大震災が起き、救援の指揮を執りました。麻吉についてはこれまでも取り上げることがあります。葬儀には昭和天皇による勅使御差遣がありました。

写真は葬送の車列です（右同書より）。

履歴の一端を、わかった範囲で官報から引用します。



明治三十二年一月七日 第四六五三号 叙任及辞令
非職ヲ命ス（二月三日、内務省） 熊本県参事官
安河内麻吉

明治三十三年九月十九日 第五一六六号 叙任及辞令
府県制第六十五条第三項ニ依リ大阪府参事会員ヲ命ス（九月十八日、内務省） 大阪府参事官 安河内麻吉

明治四十年八月三十一日 第七二五三号 叙任及辞令
二級俸下賜（八月二十九日、日本大博覧会事務局）
日本大博覧会事務局 安河内麻吉

明治四十三年七月十二日 第八一一六号 叙任及辞令
一級俸下賜 農商務書記官 安河内麻吉
大臣官房文書課長兼山林局庶務課長ヲ命ス 農商務書記官 安河内麻吉
統計及官報報告主任ヲ命ス 農商務書記官 安河内麻吉
省令審査委員ヲ命ス（以上、七月十一日、農商務省） 農商務書記官 安河内麻吉

明治四十三年八月十一日 第八一四二号 叙任及辞令
日英博覧会事務局現金出納命令官ヲ命ス（八月八日、農商務省） 農商務書記官 安河内麻吉

明治四十四年八月二日 第八四三三号 叙任及辞令
製鉄所文官普通試験委員長ヲ命ス（七月二十四日、製鉄所） 製鉄所次長 安河内麻吉

明治四十四年八月三日 第八四三五号 叙任及辞令
製鉄所文官普通懲戒委員ヲ命ス（八月一日、農商務省） 製鉄所次長 安河内麻吉

大正三年五月十二日 第五三四号 叙任及辞令
京都府へ出張ヲ命ス（五月九日、内務省） 内務省警保局長 安河内麻吉

大正三年六月十五日 第五六一号 叙任及辞令
京都府へ出張ヲ命ス（六月十一日、内務省） 内務省警保局長 安河内麻吉

大正四年五月十三日 第八三二号 叙任及辞令
京都府へ出張ヲ命ス（五月十一日、内務省） 内務省警保局長 安河内麻吉

大正七年一月二十五日 第一六四二号 叙任及辞令
◎大正七年一月二十四日
陸軍高等官一等（内閣） 静岡県知事從四位勲三等 安河内麻吉

大正七年十一月四日 第一八七六号 叙任及辞令
一級俸下賜（十月三十一日、内務省） 広島県知事 安河内麻吉

昭和二年七月十九日 第一六六号 官廷録事

◎勅使差遣 故内務次官安河内麻吉葬送ニ付一昨十七日午前十時勅使トシテ侍従子爵黒田長敬ヲ同人邸ニ差遣ハサレ幣帛ヲ下賜セラレタリ

昭和二年七月二十五日 第一七一号 彙報>官庁事項
◎官吏薨去 内務次官從三位勲一等安河内麻吉ハ本月十五日薨去セリ

勅使として遣わされた侍従黒田長敬は旧秋月藩主黒田家の当主です。勅使は弔問が目的ですが、「御下賜品」を捧げて行きます。この場合は「幣帛」（お供え物）です。安河内麻吉の墓は上須恵にあります。



事務次官公邸前より青山斎場へ向かう葬儀の列